

梅雨、雨の季節です。

防災・災害情報をすばやく入手!

防災行政無線放送、防災メール、テレビ、ホームページ……



いま一度、防災情報の入手方法を確認!

災害発生時や発生が予想される場合には、正確な情報を確実に収集することが大切です。防災・災害情報の入手方法を確認し、いざというときは正確な情報をもとに身を守る行動をとりましょう。

① 防災行政無線放送



市から、避難情報や避難所の開設状況、事前の注意喚起など、命を守るための情報を各家庭に発信します。防災行政無線受信機は、各家庭につき1台、無料で貸し出しています。2台目以降は、購入です。

問くらしの安全課(氷上庁舎内)
☎ 82-0250

② 防災メール



携帯電話やスマートフォン、パソコンに災害情報や気象警報などを配信します。

[送信する情報]
○気象情報…気象警報、地震など
○避難情報…避難準備情報や避難勧告、避難所の情報など
○お知らせ情報…防災に関する情報

[事前登録が必要です]

登録は簡単!
tamba@bosai.net
に空メール



丹波市防災メール登録用QRコード

問くらしの安全課(氷上庁舎内)
☎ 82-0250

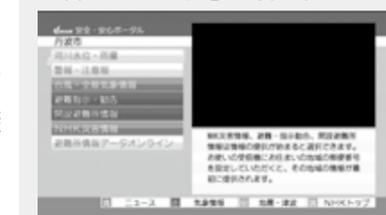
③ 地デジテレビ(データ放送)



災害時に丹波市が発信する避難情報や避難所の開設状況、河川の水位、雨量などの情報をNHK神戸放送局やサンテレビジョンのデータ放送を通じて、いち早くみなさんに伝えます。

▽NHK神戸放送局(災害時)

- NHK(総合)テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押す。
- リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」を押す。
- リモコンの矢印で、避難情報を知らせる「避難指示・勧告」や開設中の避難所を知らせる「開設避難情報」など、知りたいメニューに合わせ、「決定」を押す。



④例えば、「避難指示・勧告」を選択すると、発令中の避難準備情報・避難勧告・避難指示などの情報が表示されます。



④ ホームページ

災害時には、丹波市ホームページのトップページの「重要なお知らせ」「災害・規制情報」に避難情報や避難所開設情報、道路規制情報などを掲載します。

問総合政策課(氷上庁舎内)
☎ 82-0916

⑤ 防災マップ

災害時に避難の目安・危険な場所・避難所・持ち出し品を確認できます。また、兵庫県のCGハザードマップは県内の危険な場所や雨量、河川の水位がわかります。スマートフォンからアクセスすると現在地も表示できます。



問くらしの安全課(氷上庁舎内)
☎ 82-0250

⑥ その他



フェイスブックやLINEなどのソーシャルメディアで随時、防災・災害情報を提供しています。※情報を受信するには、アカウントを取得する必要があります。

問総合政策課(氷上庁舎内)
☎ 82-0916

市長コラム 丹波語り

柏原高校出身
内閣総理大臣 芦田均氏



都会で郷里の紹介をするとき、自慢げに「芦田均首相」の話をしたものです。「兵庫県出身の内閣総理大臣はいないけれど、我が故郷丹波市の柏原高校出身の内閣総理大臣はいらぬですよ」と。先日、私淑する芦田均氏の記念館(福知山市)を訪ねました。丹波市での氏の記録・展示もありました。柏原八幡神社の下、古市場公民館には扁額「和衷協同」(心を同じくしてともに力を合わせる)が飾られています。世界平和を願う氏の志です。芦田氏は中六人部村(現福知山市)生まれ。旧制柏原中学(現柏原高校)、東京帝国大学(現東京大学)で学び、外交官に。戦争に向かう時代に政界に転じ、反戦活動を展開します。戦時中も不利な選挙戦で見事当選。終戦後の昭和21年、憲法改正案を受け設けられた「帝国憲法改正案

委員会」の委員長の大役を果たしました。親分子分的なつながりを極端に嫌ったと言われ、リベラリスト(自由主義者)として、一党一派に偏らず私欲を排した姿勢と新憲法をまとめた手腕は高く評価されました。翌22年5月3日、国民主権を唱え不戦条項を掲げた日本国憲法が施行。昭和23年3月、内閣総理大臣に就任。重要な法案を多数成立させ、日本の復興に尽力しました。昭和29年の関東氷上郷友会の発言録に「あと何十年か後には必ずや日本再軍備論、憲法改正が議論されるであろうことを予言しておく」とあるそうです。憲法改正の是非が問われる今、時代の先を読む芦田氏の鋭敏な洞察力には感動すら覚えます。このような誇り高き先輩がいたことを銘記したいと思います。

丹波市長 谷口進一



古市場公民館に飾られている芦田氏揮毫の扁額

丹波市 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

恐竜化石を生かしたまちづくり 荻野慎諧さん vol.8

経歴：南アルプス市出身。古生物学者(理学博士)。専門は哺乳類化石の分類学など。大学・研究所の研究員、行政計画を企画するNPO、ベンチャー企業の創設経験も。



はじめまして。昨年7月より地域おこし協力隊として恐竜化石を生かしたまちづくりに携わる、荻野慎諧です。

奇跡のような恐竜化石の発見は、地域ににぎわいを呼んでくれましたが、魔法のように地域の問題を解決する存在ではありません。しかし、今後も現状を分析し、課題を見つけて解決するという、研究者が行う手法を用いて地域おこしを行い、成果を目に見えるようにすることは難しくないと考えています。

研究活動に取り組みながら地域を盛り立てる施策・事業を実行する、丹波市発「研究者で地域を活性化させる」モデルをつくり、全

国に広めたいと思っています。昨年度から実施している高校との事業連携、北海道・九州などの恐竜化石の発見自治体との連携などは、その一端です。研究者は本来、誰もが見過ごしているものに新たな切り口を見だし、世界一、日本一の発見をするプロフェッショナルです。その技術を地域活性化に使わない手はないと考えています。



恐竜化石について話す荻野隊員